

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○			○			○				○	

企業の概要

社名	アフラック	都道府県	東京都
業種	金融業、保険業	従業員数	4463名
事業概要	保険業		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	別途ルール制定
テレワーク推進担当部門	人事部人事企画課
テレワーク対象者	全社員
実施者数	387名(2015年7月-2016年10月実施者数)
実施日数	週1-2回程度

テレワークの導入・拡大の経緯

当社は「活力ある企業風土」の醸成に向けて、仕事の進め方の見直しを目的とした「WorkSMART」の取組を進めてきました。「WorkSMART」の取組として、社員がもてる力を最大限に発揮し、安定した生活設計を描けるよう、「働き方の多様性の拡大」「パフォーマンスの向上」を目的とした様々なワークスタイルの変革を検討しています。その「働き方の多様性の拡大」施策の一つとして「働く場」を変更する在宅勤務を2015年にパイロットを実施し、2016年4月より全社へ導入しました。

テレワークの概要・特徴

当社の在宅勤務は、全社員が実施可能(ただし所属長の承認必要)となります。実施頻度(適した業務があれば毎日でも可)や実施単位(日1時間でも可)に制限はつけておらず、労働時間も定時(9時-5時)内に限らず、原則7時-21時と幅をもって選択可能となっております。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- ①在宅勤務者のワークライフバランスの向上
 - ・通勤時間削減に伴い、社員が子育ての時間や自己啓発の時間を確保することができ、社員のライフの時間を充実させることができています。
 - ・在宅勤務中に私用の外出(子供の保護者会・面談・通院など)が可能なことにより、一日の時間を無駄なく社員が主体的に仕事と生活に配分することが可能となり、社員満足度の向上に繋がっています。
- ②在宅勤務を起点とした社員のアウトプット意識の向上・業務の効率化
 - ・在宅勤務者は、事前に在宅勤務で実施する業務、アウトプット、およびスケジュールを申請するため、1時間でより高いアウトプットを生み出すという意識と、時間内に「必ず」アウトプットをだす、という意識が高くなりました。
 - ・在宅で行う業務と会社で行う業務を事前に仕分けし、計画的に業務を遂行することを習慣化することで、会社にいる時の仕事についてもより計画的・効率的に行うような意識が高まっています。